

Ⅱ 診療実績

1. 内科

特任副院長・内科部長 千葉 俊也

私共内科系医師は2017年度も地域の中核病院たるべく、各自の専門領域は無論のこと、プライマリケア、救急診療等の面でも、地域に高度な医療を提供する努力を行って参りました。常勤医の減少や配置換え、また高齢化等、現在の診療体制を維持していくにあたって不安な点も少なくありませんが、近年は一定数の研修医の入職も続いており、教育も含めて各科協力し合っております。また2018年度からは、今回の診療報酬改定における大病院の基準引き下げ（許可病床400床以上の地域医療支援病院）により、当院も大病院に位置づけられることとなります。このため紹介、逆紹介率の向上が求められることとなり、これまで以上に地域の先生方との病診連携を密にする必要性を感じております。

疾病・術式・検査名 (H29)

透析センター

新規血液透析導入患者数	19名
糖尿病性腎症	13名
慢性糸球体腎炎	5名
多発性骨髄腫	1名
急性血液浄化療法施行患者数	12名
持続血液濾過 (CHF)	1名(5回)
持続血液濾過透析 (CHDF)	5名(24回)
エンドトキシン吸着 (PMX)	5名(9回)
持続血漿交換 (CPDF)	1名(1回)
転入血液透析患者数	6名
転出血液透析患者数	5名
腎移植施行血液透析患者数	1名
内シャント関連手術件数	24件
自己血管AVF新規作成	18件
自己血管AVF再建	4件

上腕動脈表在化	1 件
内シヤント縫縮術	1 件
内シヤントP T A(経皮的血管拡張術)	30 件

疾病・術式・検査名 (H29)

単位：件

代謝・内分泌領域

糖尿病教育入院	181
---------	-----

循環器内科領域

心臓MR I	208
冠動脈C T	110
冠動脈MR A	33
心臓カテーテル検査	185
経皮的冠動脈形成術	113
経皮的末梢動脈形成術	-
恒久的ペースメーカー植込術	16
ジェネレーター交換	5
急性心筋梗塞	40

消化器内科領域

C型肝炎-肝硬変（遺伝子型Ⅰ型）に対する経口ウイルス治療薬投与	15
C型肝炎-肝硬変（遺伝子型Ⅱ型）に対する経口ウイルス治療薬投与	8
B型肝炎-肝硬変に対する経口ウイルス治療薬投与	28
肝臓に対する肝動脈塞栓術（動注化学療法を含む）	6
消化器癌（肝臓以外）化学療法	5

血液内科領域（新規入院患者のみ）

悪性リンパ腫	29
骨髄異型性症候群	16
多発性骨髄腫	15
急性骨髄性白血病	8

急性リンパ性白血病	2
自己免疫性溶血性貧血	2
特発性血小板減少性紫斑病	1
その他血液疾患	7

2. 総合外科・消化器外科

外科部長 野口 岳春

平成 29 年 1 月から 12 月の手術症例数は 323 例でした。前年が 328 例であり、やや少ないもの、ほぼ同等の手術件数を行っております。

腹腔鏡治療は 95 例で約 1/3 を腹腔鏡で行っています。乳腺甲状腺疾患も 68 症例手術を施行しています。学会資格ですが、平成 29 年は新たな取得はありませんでした。

甲状腺、乳腺外科では非常勤医師の八代先生、青山先生、堀内先生は変わらず勤務し応援して頂いています。

現在のクオリティは落とさずに診療していきたいと考えております。

疾病・術式・検査 (H29)

単位：件

胃、十二指腸	23
胃癌 幽門側胃切除	7
胃癌 胃全摘術	11
胃癌 バイパス術	3
十二指腸潰瘍穿孔 腹腔鏡下单純閉鎖術	1
胃 GIST 腹腔鏡下胃局所切除術	1
小腸	10
腸閉塞 腹腔鏡下イレウス解除術	4

腸閉塞	ルウス解除術（腸管切除あり）	5
腸閉塞	ルウス解除術（腸管切除なし）	1
虫垂		37
急性虫垂炎	腹腔鏡下虫垂切除術	35
急性虫垂炎	開腹虫垂切除術	2

疾病・術式・検査 (H29)

単位：件

大腸	47
結腸癌 開腹結腸切除	24
結腸癌 腹腔鏡補助下結腸切除	5
直腸癌 開腹直腸切除	4
直腸癌 腹腔鏡補助下直腸切除	5
大腸穿孔 結腸切除術	5
人工肛門造設後 人工肛門閉鎖術	2
直腸脱手術	2
胆嚢	40
胆嚢結石症（胆嚢炎） 腹腔鏡下胆嚢摘出術	33
胆嚢結石症（胆嚢炎） 開腹胆嚢摘出術	2
胆嚢ポリープ 腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
胆管結石症 開腹胆嚢摘出術+胆管切石術	2
胆嚢腫瘍 腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
胆嚢腫瘍 胆嚢摘出（肝床部切除）＋リンパ節郭清術	1
膵、胆管	1
膵腫瘍 膵体尾部切除術	1
肝臓	4
原発性および転移性肝臓癌 肝区切除術	2
原発性および転移性肝臓癌 部分切除	1
肝嚢胞 腹腔鏡下肝嚢胞天蓋切除術	1
ヘルニア	63
鼠経ヘルニア 前方アプローチによる根治術	49
鼠経ヘルニア TEP 法または TAP 法	8
大腿ヘルニア 根治術	3

腹壁癒痕ヘルニア 開腹根治術	2
臍ヘルニア 根治術	1

疾病・術式・検査 (H29)

単位：件

肛門	7
痔核 結紮切除術	5
痔瘻 根治術	1
肛門ポリープ 切除術	1
乳腺	35
乳癌 乳房切除+リンパ節郭清	18
乳癌 乳腺部分切除+リンパ節郭清	11
乳腺腫瘍 腫瘍摘出術	6
甲状腺	33
甲状腺腫瘍 全摘術	8
甲状腺腫瘍 右または左葉切除術	15
甲状腺機能亢進症 摘出術	6
副甲状腺機能亢進症 摘出術	4
体表	21
リンパ節腫脹 リンパ節生検	9
体表腫瘍 腫瘍摘出術または切開排膿	3
皮下埋め込み型カテーテル挿入	9
その他	2

3. 小児科

小児科部長 恩田 眞弓

小児科の特徴である急性呼吸器感染症、消化器感染症が外来の多数を占めていました。ロタウイルスワクチンが開始されロタウイルス胃腸炎の減少が期待されましたが、2015 冬以降明らかに減少し、同疾患に伴う脱水症、痙攣発作などで入院する例はいませんでした。2017 秋から 2018 春にかけて Influenza がまた流行しました。当科では幸い脳症など重篤な合併症をきたした患児はいませんでした。今シーズンは、昨年と異なり A 型が先行する通常の流行でした。

予防接種では、1 回に接種出来る種類が増え、インターバルも変更になるなど多少混乱が続きましたが順調に接種出来ています。2014 から水痘が定期接種になり、2 度接種になりました。2 度接種になるに従い感染数は減少しました。

子宮頸癌予防ワクチンが開始され、一時的に接種が見合わされました。現在接種可能となっておりますが今年度も接種者もいませんでした。

インフルエンザワクチンは積極的に奨励していますが、まだまだ接種する方が少なく残念です。1 歳未満の赤ちゃん、高齢者、受験生のいるご家族などは家族ぐるみで接種をしていただきたいものです。妊娠中の方にも必要です。

B 型肝炎ワクチンは定期接種になりましたが、対象年齢から漏れる方にも接種していただくよう指導しています。

MR ワクチン 2 回接種に伴い国内での発生はほとんどなくなりました。

アレルギー性疾患は、喘息をはじめ罹患児は多数来院されます。近年、抗アレルギー剤の進歩に伴って喘息のコントロールは良好な経過をたどるようになりました。今年も重症の発作をきたした例は当院ではありませんでした。

予 防 接 種 (H29)

単位：件

BCG	92
B 型肝炎	262
アクトヒブ R (インフルエンザ桿菌)	139
ムンプス (流行性耳下腺炎：おたふく風邪)	115
水痘 (水ぼうそう)	186
MR (麻疹、風疹)	180
インフルエンザ	694
二種混合	42
三種混合	-
日本脳炎	209
子宮頸がん	-
肺炎球菌	98
合 計	2,017
乳児健診	121

4. 内視鏡科

術式・検査 (H29)

単位：件

内視鏡	上部消化管（人間ドックを含む）	3,312
内視鏡	下部消化管（人間ドックを含む）	671
内視鏡	膵胆管造影（内視鏡的十二指腸乳頭切開術を含む）	27
	経皮的内視鏡的胃瘻造設術	16
合	計	4,026

5. 脳神経外科

脳神経外科部長 富永 禎弼

当院脳神経外科は、頭部外傷、脳血管障害（くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞など）、脳腫瘍の診断・治療を行なっております。脳内血腫に対しては一般的な開頭血腫除去術に加えて、低侵襲の神経内視鏡下血種除去術も行ないます。また、脳動脈瘤に対しては開頭クリッピング術および血管内治療（コイル塞栓術）どちらでの治療対応も可能です。発症 4.5 時間以内の脳梗塞急性期患者さんには、t-PA による積極的な治療を行ない、適応のある患者さんには脳主幹動脈閉塞による血管内治療（血栓回収術）も行なっております。脳卒中急性期から運動麻痺や失語症に対するリハビリテーションを導入し、茨城県南地域脳卒中連携パスを運用しながら回復期リハビリテーションへとつなげます。

脳梗塞発症予防の一環として内頸動脈狭窄症に対するステント留置術や頸動脈内膜剥離術を行ない、慢性脳虚血患者に対する浅側頭動脈-中大脳動脈吻合術（バイパス手術）も行なっております。血管内治療およびバイパス手術等の脳血管障害に関しては東京女子医科大学の血管障害グループの協力を得て治療に従事しております。

術式・検査 (H29)

単位：件

脳腫瘍	開頭摘出術	6
	経蝶形骨洞手術	-
脳血管障害	破裂脳動脈瘤	13(*2)
	未破裂脳動脈瘤	8
	頸部内頸動脈ステント留置術	1
	脳動静脈奇形	1(*-)
	高血圧性脳内出血	11
	血栓回収術	2(*2)
	浅側頭動脈—中大脳動脈吻合術	-
外傷	急性硬膜外血腫	1
	急性硬膜下血腫	8

	慢性硬膜下血腫	38
水頭症	脳室シャント術	4
その他		26
合 計	(*血管内手術)	119

6. 整形外科

副院長・整形外科部長 梅原 新英

2017年も数多くの手術がありました。主体となるのは高齢者の骨粗鬆症に関連した骨折に対する手術で、大腿骨転子部・頸部骨折、橈骨遠位端骨折などです。特に前者は寝たきりとなる原因になるため、早期に手術し、早期にリハビリテーションを行う必要があります。

また専門外来として「脊椎外来」、「膝関節外来」、「肩関節外来」、「股関節外来」、「スポーツ整形外来」を開き、整形外科の幅広い分野に対応しております。

術 式 (H29)

単位：件

外傷

四肢・骨盤骨折	骨折観血的手術、関節内骨折観血的手術	208
四肢・骨盤骨折	人工骨頭挿入術	52
偽関節手術		1
関節脱臼	観血的整復術	7
関節脱臼	非観血的整復術	75
開放骨折・挫創など	デブリードマン、縫合	5
腱断裂 (アキレス腱断裂含む)	腱縫合術、腱移行術	9
	小計	357

関節手術

膝半月板損傷	半月板切除術・縫合術 (関節鏡視下)	12
--------	--------------------	----

関節内遊離体（膝、肘、足関節）	関節鼠摘出術（関節鏡視下）	-
膝関節炎など	滑膜切除術（関節鏡視下）、化膿性関節炎清掃術	6
肩腱板断裂手術（関節鏡視下）		7
変形性股関節症	人工股関節置換術、再置換術	16
リウマチ性膝関節症	人工股関節置換術、再置換術	1
変形性膝関節症	人工膝関節置換術、再置換術	13
変形性膝関節症	高位脛骨骨切り術	2
	小計	57

術式（H29）

単位：件

脊椎手術

頚椎症性脊髄症、頚椎椎間板ヘルニア、頚髄損傷など	椎弓形成術	5
環軸椎脱臼・骨折	体外式脊椎固定術	1
腰部脊柱管狭窄症	椎弓切除術	11
腰部脊柱管狭窄症、腰椎分離り症など	脊椎固定術	10
腰椎椎間板ヘルニア	椎間板切除術（鏡視下含む）	8
椎体骨折・偽関節	経皮的椎体形成術	-
	小計	35

その他

骨腫瘍	切除術	4
軟部腫瘍、ガングリオン、滑液包	摘出術	10
ばね指、ドゥケルバン病	腱鞘切開術	19
肘部管症候群	神経移行術	3
手根管症候群	手根管開放術	8
閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽など	切断術、断端形成術	7
骨折手術後など	骨内異物除去術	65
その他		16
	小計	132

合 計

581

7. 形成外科

形成外科医長 平野 由美

形成外科一般を対象。創傷治癒の観点で傷をきれいにすることを心がけています。

術式・検査 (H29)

単位：件

瘢痕拘縮形成手術（顔面）	5
瘢痕拘縮形成手術（その他）	3
分層植皮術（25 cm ² 未満）	1
全層植皮術（25 cm ² 未満）	3
皮弁作成術・移動術・切断術・遷延皮弁術（25 cm ² 未満）	6
頬骨骨折観血的整復固定術	3
鼻骨骨折整復固定術	6
神経縫合術（指）	2
腱縫合術	2
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	4
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部）（長径 3cm 未満）	11
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部以外）（長径 3cm 未満）	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm 未満）	43
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm 以上，6 cm 未満）	23
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 6 cm 以上，12 cm 未満）	7
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 12 cm 以上）	4
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm 未満）	96

皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm 以上，4 cm 未満）	29
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 4 cm 以上）	10

術式・検査 (H29)

単位：件

毛巣洞手術	3
先天性耳瘻管摘出術	2
耳介腫瘍摘出術	1
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術	7
ガングリオン摘出術	10
骨腫瘍切除術	3
眼瞼下垂症手術（眼瞼挙筋前転法）	4
眼瞼下垂症手術（その他のもの）	10
眼瞼内反症手術（皮膚切開法）	4
陥入爪手術（簡単なもの）	17
レーザー治療	5
腐骨摘出術	1
褥瘡に対する手術	7
糖尿病壊疽に対する手術	5
慢性膿皮症に対する手術	2
合 計	340

8. 泌尿器科

術式・検査名 (H29)

単位：件

尿管カテーテル	1
尿管ステント留置	3
TUR-Bt	-
膀胱瘻造設	-
合 計	4

9. 皮膚科

皮膚科医長 田中未知
萩原佐恵子

術式・検査 (H29)

単位：件

レーザー脱毛	48
デブリードマン（100点未満）	-
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径5cm未満））	-
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	2
皮膚切開術（長径10cm未満）	39
合 計	89

10. 眼科

眼科医長 矢部 美香子

外来にて眼科疾患全般を診ています。現在常勤医 1 名体制となっております。

手術については白内障手術、外眼部手術、および外来網膜レーザー手術などを行っております。月曜は常勤医と筑波大非常勤医師との 2 診体制で診療を行っております。よりスムーズな外来に努め、できるだけ多くの手術治療が行えるよう力を注いでいきたいと考えております。

また、今後も関連病院との連携を強め、地域医療の役に立てるよう出来るだけ精進していきたいと思っております。

疾患および術式 (H29)

単位：件

白内障：水晶体再建術	118
麦粒腫切開術	1
霰粒摘出術	4
眼瞼腫瘤切除	1
眼瞼下垂症手術	3
翼状片切除術＋結膜弁移植術	5
合 計	132

1 1. 歯科口腔外科

歯科口腔外科部長 山崎 善純

当科は、常勤医 3 名、非常勤医 1 名の体制で診療にあたっております。おもに、口腔外科的疾患（埋伏智歯、外傷、嚢胞、腫瘍、顎関節症、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患、口腔感染症、口腔乾燥症、味覚障害、摂食嚥下障害などの口腔機能障害等）を治療対象としております。ただし、有病者（障害のある方、重度の基礎疾患のある方）と当院入院中の方については、一般歯科治療も行っております。

基本的には、ご紹介頂いた患者を、処置後に速やかに、紹介元の先生に戻っていただく病診連携をとるよう心がけております。

入院、手術症例は、38 例で全身麻酔症例は、18 例、局所麻酔下では、20 例でした。

ARONJ（顎切除）が 2 例あり、歯科医科での病診連携の必要性が認められました。

術式・検査 (H29)

単位：件

抜歯	7
頸部リンパ節生検	3
顎骨嚢胞摘出術	4
上顎腫瘍（良性）	1
下顎腫瘍（良性）	2
舌腫瘍（良性）	1
舌腫瘍（悪性）	2
口唇腫瘍（良性）	1
顎骨骨折（手術）	1
顎骨骨折（保存）	4
埋伏過剰歯	3
埋伏犬歯	1
ARONJ（顎切除）	2

インプラント埋入	3
蜂窩織炎	2
化学療法	1
合 計	38

12. 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科部長 伊藤 昭彦

4月から常勤医3名と非常勤医数名で毎日2診体制で外来を行っております。
 月曜から土曜日の午前11時30分までの受付で予約制ではありません。水曜日は手術日で外来は非常勤医のみとなります。放射線治療などができないため悪性腫瘍の手術は行っていません。入院はめまいや急性炎症、突発性難聴などが多いです。

術式・検査 (H29)

単位：件

扁桃周囲膿瘍切開術	1
鼓膜切開術	71
鼻内異物摘出術	4
鼻中隔矯正術	4
鼻甲介切除術	10
咽頭異物摘出術	9
扁桃摘出術	20
副鼻腔手術	36
鼓室形成術	6
頸部手術	8
その他	135
合 計	304

13. 麻醉科

麻醉科部長 古謝 宏樹

術式・検査 (H29)

単位：件

全身麻酔症例

外科	257
整形外科	447
口腔外科	19
脳神経外科	68
泌尿器科	-
形成外科	51
耳鼻咽喉科	66
内分泌科	35

静脈麻酔症例

泌尿器科	-
整形外科	-
脳神経外科	-

脊髄クモ膜下麻酔症例

泌尿器科	-
形成外科	2
整形外科	4
外科	10

脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例

整形外科	-
外科	-

伝達麻酔症例

整形外科	2
------	---

1 4 . 放射線科

当科では、主にC T、MR I、マンモグラフィー、上部下部消化管透視撮影、点滴静注腎盂尿路造影、その他依頼された一般撮影の画像診断を行っております。

尚、平成 29 年に最新型血管撮影システムが導入されました。このシステムには、最新鋭の平面型 X 線検出器が搭載されていることから、カテーテルを用いた高度な血管内治療において、より少ない X 線で解像度の高い画像が描出可能になりました。

※撮影件数は、画像診断センターページに掲載しております。

【導入装置】



Trinias C12 package (島津メディカルシステムズ社製)
平成 29 年 12 月設置